

経営比較分析表（令和4年度決算）

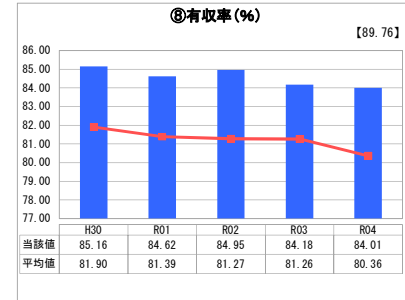
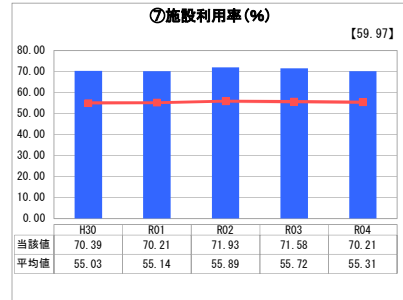
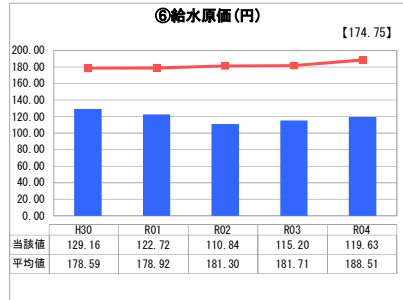
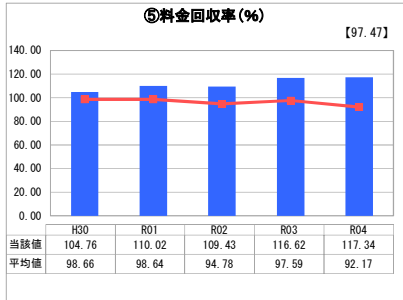
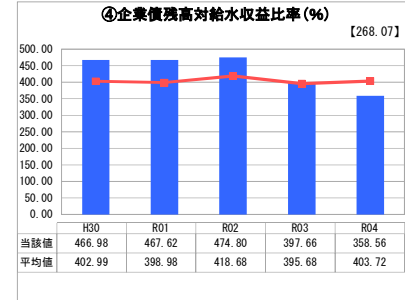
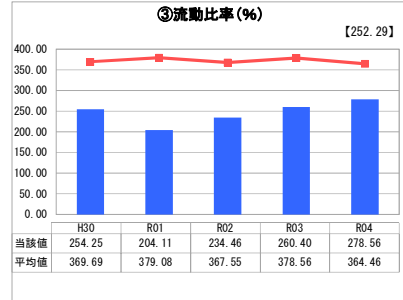
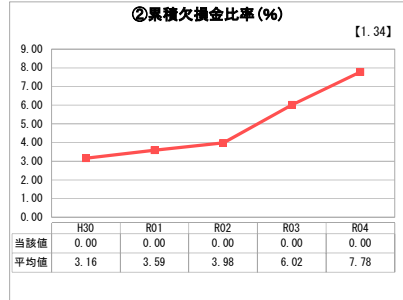
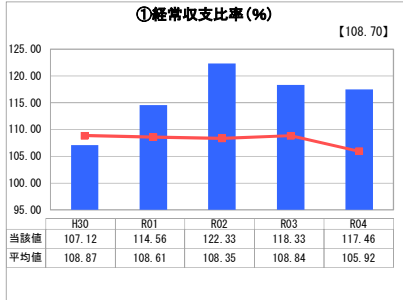
三重県 明和町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	78.05	100.00	2,420	

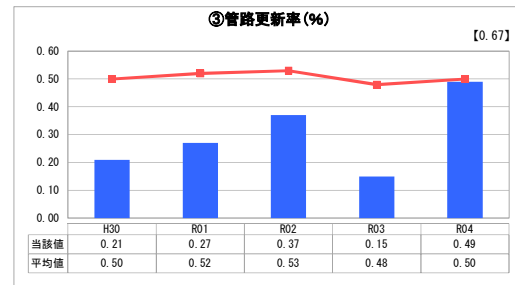
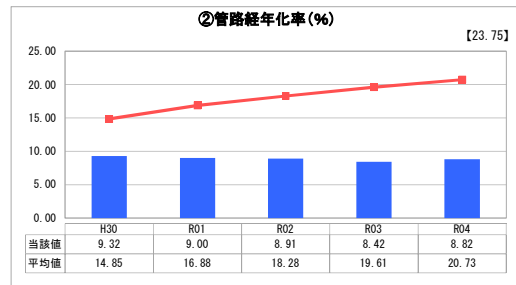
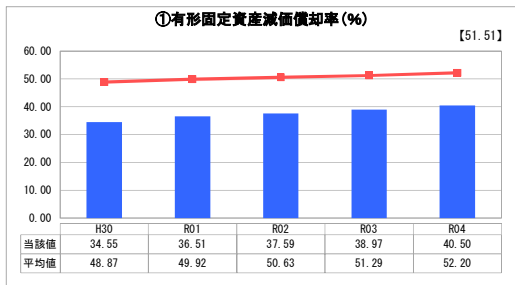
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,910	41.06	557.96
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
22,858	41.06	556.70

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率のほか、各指標の数値を見ると、経営は健全な状況を維持していると言える。管路更新率に見られる老朽管の増加が有収率にも影響しているものと思われ、令和4年度からは老朽管更新事業に着手していることから、今後、企業債残高の増加をはじめ、収支バランスを注視しながら経営の安定化に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

これまで、施設の維持管理を主体として運営していたことから、今後の管路経年化率を見据えた計画的な老朽管更新が急務であり、令和4年度から本格的な事業に着手している。今後、経営戦略に基づく収入見込みと事業投資額のバランスを踏まえた着実な事業進捗を図る必要がある。

全体総括

現在の経営状況は、概ね健全であると判断される。令和2年度に策定した水道事業経営戦略に基づき、令和4年度から老朽管更新事業に着手することとあわせ、水道料金の見直しや広域連携等による事業の効率化等にも取り組んでいる。今後、アセットマネジメントによる経営状況の把握と経営戦略の適宜見直しにより経営の安定維持に努める必要がある。